

デジタルワークフローのためのフィールドソフトウェア

# Trimble Access



2025年5月版

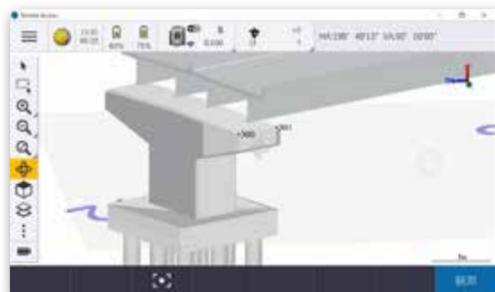


## Trimble Access

Trimble Accessは、測量・建設向けに開発されたフィールドアプリケーションです。TS・サーボTS・スキニングTSからGNSSまでTrimbleが提供する様々なセンサーと接続することが可能です。また、使用するセンサーに関係なく統一されたインターフェースにより、共通の操作性をご提供します。建設DXに向けて3次元データを現場で活用することで、現場の効率化・省力化に貢献します。

### 建設DXにむけて

BIM/CIMの標準化に向けて三次元データの活用は一般化してきました。Trimble Accessでは、設計データからの測設作業や設計データとスキャンデータとの比較検証も可能です。



3Dモデル (IFCファイル)から測設ポイントを指示することも可能

### あらゆる業務に対応

Trimble Accessは一般測量だけでなく、道路やトンネル・モニタリング等、様々なアプリケーションをご用意。モジュールを追加することであらゆる業務にマッチした計測が行えます。今後、日本向けの仕様に合わせた改良を行うことで公共的な作業にも利用できる可能性を秘めたアプリケーションとなっております。



様々なアプリケーションに対応  
※画面には日本市場で販売していない商品も含まれます。

## 3Dマップベースでリアル観測

トータルステーションやGNSSを接続して観測したデータ（座標）は即座にマップへ展開され結線を結んだり、コードを指示して観測すれば属性情報に合わせた簡易的な現況観測が行えます。2D表示/3D表示の切り替えが簡単に行えますので、いつでも3D図面で観測状況の確認ができ、3Dモデルや地図を表示することで、よりリアルな観測結果を表示します。

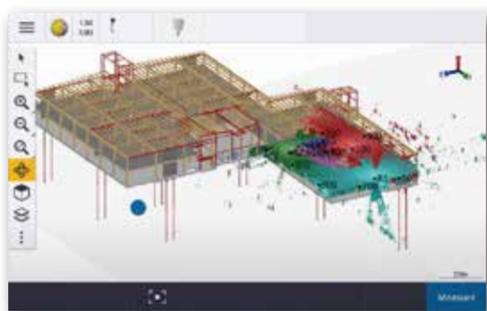


Trimble S7 VISION

### 3Dマップ表示

Trimble Accessの表示領域に観測した座標のプロットマークやライン、Trimble提供の背景地図や画像、3Dモデルなど、すべて重ね合わせて表示ができます。現場では観測結果をすぐに確認できますので、ミスを見つけて手戻りのない高精度な図面を作成できます。

※サポートされているファイル  
DWGファイル、IFCファイル、TRBファイル  
DXFファイル、シェイプファイル、LandXMLファイル  
などが代表的なファイルです。



3Dモデル (IFCファイル)と観測座標を重ねて表示したマップ



Trimble GNSS

## Trimble STS/GNSS連携（各種測設）

Trimble STS/GNSSを接続して、測設作業を行います。Trimble Accessを使用した測設は、座標だけではなく、CADに描かれたラインや3Dモデルによる測設も可能です。2D表示はもちろんのこと、3D表示で測設箇所を確認しながら効率よく作業が行えます。



Spectra Geospatial Focus 50

### 3Dデータ測設

面のデータやIFC・DWGデータを活用した測設作業が行えます。座標点を作らなくても、データを指定するだけで測設ができるのも魅力です。



ライン上、オフセット、ステーションピッチ等、様々なラインを使用した測設

### 出来形管理

国土交通省 TS・GNSSによる出来形管理に対応。

Trimble SX12を使用すれば、ARで管理断面を投影することもできます。

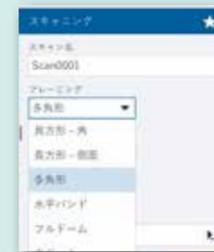


## Trimble SX連携

Trimble SXシリーズ（以下、SX）と大画面タブレットを使用してTrimble Accessと連携することで、TS観測、測設等、通常の計測業務が行えます。また、ARによる測設やスキャン計測、スキャンデータ間の進捗確認、スキャンデータと設計データとの比較をヒートマップ表示で確認も可能です。

### スキャン

SXとAccessを組み合わせることで様々なスキャン計測を実現しました。対象エリアを多角形、矩形、バンド、フルドーム等、細かく設定し、計測したデータを即座にマップ表示・確認可能です。現地での取り漏れの防止につながります。



エリアスキャン

### ヒートマップ

SXで計測したスキャンデータと3DモデルのヒートマップをARで投影することができます。PDFデータを出力できます。



ARとヒートマップ表示

検査結果をレポート表示



Trimble SX12

## ISローバー TSとGNSS 真のハイブリッド観測

トータルステーションと GNSS 受信機を同時に接続し  
ます。観測シーンに合わせ TS、GNSS を瞬時に切り替えて  
観測する事ができます。高低差の多い現場、視通の少な  
い現場では追尾が困難です。

そのような現場では IS ローバーで作業スピードを落とす  
ことなく観測を行うことができます。



## GNSSサーチ プリズムロックは一瞬！

高低差のある場合、一度プリズムをロストしてしまうと、  
再ロックは困難でした。

でも、GNSS サーチを使えば一瞬でプリズムをロック！  
測量作業に慣れていない方、初心者の方でも簡単にロッ  
クできます。

RTK もしくは VRS で対応

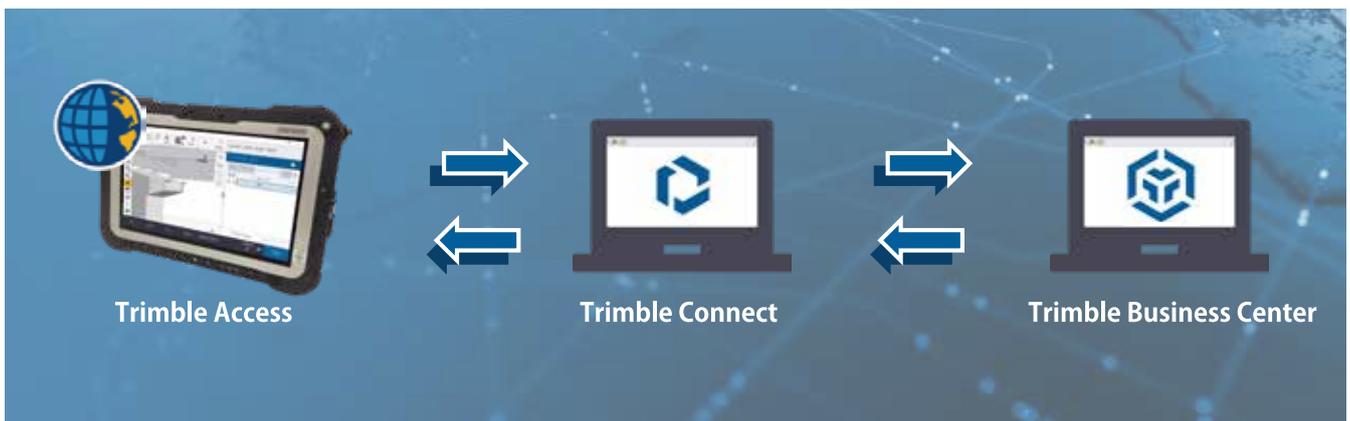


トータルステーション：  
Trimble S シリーズ、Trimble SX、  
Spectra Focus シリーズ

GNSS：  
Trimble R シリーズ、Trimble DA2、  
Spectra SP80 / SP85

## Trimble Connect • Trimble Business Center 連携

Trimble Access で観測したデータを現場から Trimble Connect にアップロードすることで、クラウド経由でデータ交換が  
可能となります。現場⇄オフィスでのデータ交換も後処理ソフトウェア Trimble Business Center へデータを即座に読み込  
み、効率的にデータ編集が行えます。また、現場で座標漏れがあった場合、TBC から座標データを Connect に登録。  
Trimble Access でダウンロードすることで時間ロスの削減につながります。



お問い合わせ

2CJ-H8XT1-1(2505-10)YY

株式会社 **ニコン・トリンブル**  
<https://www.nikon-trimble.co.jp/>

ジオスペーシャル事業部  
〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-16-2 テクノポート大樹生命ビル

※ 掲載されている各値は、環境により変動します。  
※ Trimble及び地球儀と三角のロゴは、米国Trimble社の登録商標です。  
※ Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。  
※ Google、Google Playおよびその他のマークはGoogle LLCの商標です。  
※ その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標及び商標です。  
※ ご注意：本カタログに掲載した製品及び製品の技術（ソフトウェアを含む）は、「外国為替及び外国貿易法」等に定める規制貨物等（技術を含む）に該当します。輸出する場合には政府許可取得等適正な手続きをお取り下さい。